

## 日本未熟児新生児学会 平成21年度 評議員会 議事録

日時：平成21年11月29日（日）11：50～12：50

場所：パシフィコ横浜3階303・304（第3・4会場）

### 議事

#### I. 報告事項

##### 1. 理事長報告

###### 1) 韓国新生児学会交流の件

11月29日9：30～10：15に第1会場にてSoo Chul Cho先生に‘A Survey of Bioethical Aspects on Extremely Low Birth Weight Infants and Infants having Severe Anomaly or Disability in Korea’のタイトルでご講演いただいた。来年春の春季韓国新生児学会では、来年度会長の船戸正久先生にご講演をお願いする。

###### 2) 厚生労働省よりSIDS対策強化月間について連絡があった件

強化月間にあたり、資料が配布された。

###### 3) 新型インフルエンザ関連について

新型インフルエンザに関する本学会の8月下旬からの対応について報告があった。

日本小児科学会新生児委員会や新型インフルエンザ対策室からのメッセージもあり、情報が交錯している。

日本周産期・新生児学会と当学会合同でメッセージを出す予定である。

###### 4) アイノVENT及びアイノフロー吸入用800ppmについての要望書送付の件

9月11日に日本医師会会長、厚生労働省保険局医療課長にそれぞれ送付した。使用量ではなく、使用時間で課金する。来年1月から販売し4月から改訂を行う。1時間1万円で4日間を上限とするがそれ以上は加算されないという方向で検討されている。場内より、今後、詳細につきメッセージを出すよう要望があった。

###### 5) 「新生児ケアのガイドライン（案）」について

日本産科婦人科学会の診療ガイドライン作成委員会・委員長の水上教授から「新生児ケアのガイドライン（案）」が板橋先生宛に届き、当学会の医療提供体制検討委員会（梶原委員長）にて検討することとなった。

###### 6) 日本救急医療財団より日本版救急蘇生ガイドライン策定に係る小児領域分担調整会議の開催について連絡があった件

11月25日に会議が開催され、本学会から代表で田村理事が出席した。

###### 7) ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム注射剤の適正使用への協力依頼があった件

厚生労働省から協力依頼の文書が来たため、学会ホームページにアップしている。

###### 8) 委員会活動費について

すでにご連絡いただいているもの以外に今年度の委員会活動に関わる支出があれば事務局に申し出るように呼びかけがあった。

###### 9) 文献許諾使用料の件

メテオインターゲート社の7～9月の文献使用料は合計3,255円（今年度合計5,197円）である。支払い金額が税込みで10,500円を超えた時点で指定口座に振り込まれる。

##### 2. 会長挨拶（板橋会長）

第54回学術集会について523演題集まったことなどを含め開催内容の説明があった。

## 3. 庶務報告（本間幹事）

## 1) 新入会者，退会者の件

会員数（全会員数 3,082 名，名誉会員 22 名，功労会員 41 名），新入会 290 名，退会 248 名について報告が行われた。昨年の新入会者を大きく上回り，退会者は減少した。物故会員の南部春生先生，馬場一雄先生の黙祷を行った。

## 2) 会費滞納者の件

資料に基づき資格喪失退会予定者について報告された。平成 19 年以降会費が未納で，2 月に請求後，9 月に再請求を行ったが，11 月 15 日現在振込みが確認されていない。12 月末日までに振込が無い場合には資格喪失退会となる。

## 4. 各種委員会報告

## 1) 日本未熟児新生児学会賞選考委員会（戸茱委員長）

6 月に学会賞選考委員会を開催した結果，平成 20 年度日本未熟児新生児学会賞受賞論文が決定し，第 3 回理事会にて報告を行い承認された。受賞者の遠藤大一先生，中村俊紀先生には，このあと講演を行っていただく。

## 2) フェローシップ選考検討委員会（戸茱委員長）

今年度の AJ フェローシップ採用者は 38 名で，懇親会には 17 名が出席予定。会期中にそれぞれ演題を発表する。該当演題には抄録集・プログラム集の中に★印をつけ，懇親会会場および演題発表時には「AJ フェローシップ」と書かれた赤い名札を付けられるので見かけられた際には温かいお声をおかけいただくよう呼びかけがなされた。このフェローシップが会員増に貢献していると思われる旨報告があった。

## 3) 雑誌編集委員会（堺委員長）

ここ 3 年ほど毎年 25 編程度の投稿がある。査読に協力いただいている評議員の先生にお礼と，専門医試験に関連するので期間厳守について協力の要請が行われた。

## 4) 教育委員会（田村委員長）

本年 8 月に長野県で中村友彦先生を実行委員長に迎え開催された，第 13 回教育セミナーのアンケート結果について資料に基づき報告があった。次回は 2010 年 8 月 26 日（木）～28 日（土），香川大学の伊藤進理事を現地実行委員長として香川県で予定されている。昨日教育委員会を開催し，来年度のプログラムにつき検討を行った旨報告があった。

## 5) 社会保険委員会（小泉委員長）

「新生児科」標榜の要望が 7/26 に日本小児科学会で承認され，11/16 厚生労働省医政局総務課に提出された。一酸化窒素およびシナジスの適応拡大に関する提案書について 8/28 にヒアリングが行われた。来年の 1 月から暫定保険点数が適応される。4 月から通常の保険収載となる。

内科系保険連合小児科関連委員会が 10/20 に開催され，小児科学会分科会ヒアリング結果が報告された。平成 22 年度診療報酬改訂 DPC 変更要望につき意見があれば事務局にお寄せいただきたい旨報告があった。日本小児科学会の依頼を受け中医協中央社会保険医療協議会基本問題小委員会ヒアリングが 11/6 に開催され，診療報酬上の問題および医師待遇改善の必要性について説明した。

## 6) 薬事委員会（伊藤委員長）

「リン酸ナトリウム注射液開発に関する要望書」について検討した。厚生労働省「新生児薬物離脱症候群」マニュアルの訂正追記について検討した。本会として従来から要望していた新生児単純ヘルペスに対するアシクロビルの適応が拡大される。

## 7) 新生児の輸血問題小委員会（小山委員長）

施設毎の合成血作成，保存血の保存の問題，合成血の Hct 値の問題，保存血の K 値についてそれぞれ報告

があった。

8) サーベイランス委員会（山内委員長）

現在、新生児単純ヘルペス感染症、Paternal Uniparental Disomyの2疾患で進行中であり、田村理事より要望があったダウン症のTAMについて、新規登録を行うことが報告された。

9) 規約改定委員会（宇賀委員長）

現在の規約に関しては問題ない。法人化の問題は今後の動きが不明のため、会計士、弁護士などの専門家に相談していく予定である。

10) 学術集会の在り方検討委員会（三科委員長）

昨年の学術集会のアンケートを学会ホームページにアップしている。ポスター発表については、今年の学術集会で導入した。学会開催の事務手続きを学会の方で行って欲しいとの声があった。今回は学会についてのアンケートモニターを募集したところ63名の応募しかなかったため、評議員の先生方に協力をお願いしたい。

11) 広報委員会（堀内委員長）

学会ホームページには、1日に120件程度のアクセスがある。教育セミナーのアルバムやAJフェローシップなどの案内を掲載している。またホームページを来年度中にリニューアル予定である。

12) 倫理問題検討委員会（船戸委員長）

コロンビア大学のOrfali教授との共同研究アンケートについて、60%の回収率を達成し、まとまった。ミニシンポジウムで発表予定である。学会会期中に倫理問題につき、口演・ポスター発表がある、との報告があった。

13) 医療の標準化検討委員会（楠田委員長）

現在進行中の小型化トレミキシシ（PMX-01R）使用ガイドライン作成作業について資料に基づき報告があった。意見を募って決定予定である。PDAのガイドラインがほぼまとまった。学会誌およびホームページに掲載を検討している。作成の過程について何らかの形で記録を残したいとの報告があった。

14) 医療提供体制検討委員会（梶原委員長）

満期産児の取り扱いについて、ガイドラインを作成している。会期中に委員会を開催し、検討予定である。

15) その他

- 来年度の役員選挙予定について理事長から説明があった。
- 救急・周産期補助金削減反対声明（楠田理事）  
事業仕分けで医政局での医師対策救急対策補助金が削減された。執行率が70%くらいで新規は0査定と、許せない状況なので理事会の承認のもと反対声明を出した。マスコミも1社のみが取り上げたが、もつとアピールして行く必要があるとの報告があった。
- 禁煙宣言について、承認され、学会として取り組んで行くこととなった。

## II. 協議事項

1) 平成20年度決算に関する件（本間幹事）

本間幹事より資料に基づき報告が行われた。仁志田監事の監査報告の後、総会において承認を得ることとなった。

2) 平成22年度予算に関する件（本間幹事）

資料に基づき本間幹事が説明・報告が行われた。総会において承認を得ることとなった。

3) 新功労会員の件

前回の理事会で承認された現在評議員の宮坂勝之先生、渡辺 勇先生から功労会員について承認された。

4) 次期会長に関する件（戸荊理事長 承認を取る）

理事会において次期会長に船戸正久先生が選ばれた旨報告があり、承認された。挨拶が行われた。

5) 次期副会長に関する件（戸荊理事長 承認を取る）

理事会において次期副会長に楠田 聡先生が選ばれた旨報告があり、承認された。

挨拶が行われた。